

| 科目名<br>Subject Name  |  | 開講年次       | 開講学期                              | 曜日・時限        |
|--|--|------------|-----------------------------------|--------------|
| 保育内容人間関係<br>Field of human relations in childhood  |  | 2年         | 後期                                | 火曜日・4時限、5時限  |
| 単位数  | 授業の形態                                      |            | 授業の性格                             |              |
| 1単位  | 演習   |            | 選択<br>(保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種)) |              |
| 当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目   |  |            |                                   |              |
| 幼稚園免許 保育士資格取得に必要な科目  |  |            |                                   |              |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目   |  |            |                                   |              |
| 幼稚園免許 保育士資格取得に必要な科目  |  |            |                                   |              |
| 担当者に関する情報  |  |            |                                   |              |
| 氏名   |  | 研究室の場所     | オフィスアワー                           | 電話番号・メールアドレス |
| 小林研介   |  | 非常勤<br>講師室 | 14:30~17:40                       | 授業中に指示します    |
| 授業の概要  |  |            |                                   |              |
| 乳幼児にとって人との関わりは大変重要なものである。その意味を各年齢の発達とともに理解し、保育者としての子どもとの関わり方の基礎的な知識をつける。   |  |            |                                   |              |
| 授業の到達目標  |  |            |                                   |              |
| 1、自分自身の今までの人間関係を振り返り、何がどのような点で自分に影響を与えたか考察できるようにする。<br>2、乳児と保護者、子ども同士の人との関わりを年齢を追いながら観察し、その特徴を理解できるようにする。<br>3、保育者としての子どもとの適切な関わり方がとれるようにする。 |  |            |                                   |              |
| 授業の方法  |  |            |                                   |              |
| 講義形式が主となるが、写真ビデオ等の映像を使い現実の場面での子どもの姿ならびに保育者の対応が分かるような方法をとる。また、知識の受講だけでなく保育の場面場面でいかに関わるかの考察を学生同士で討議形式も活用する。                                    |  |            |                                   |              |
| 学習の成果  |  |            |                                   |              |
| 1、乳児と保護者の関わりでその健全な発達にとって何が必要か理解し言うことができる。<br>2、各年齢ごとの子ども同士の人との関わりの特徴を言うことができる。<br>3、保育者として各年齢の子どもとの適切な関わり方がとれるようになることができる。                   |  |            |                                   |              |
| 授業のスケジュールと内容   |  |            |                                   |              |
| 第1回目   | 講師紹介 学生自己紹介 自分を語るという体験、他者を知ろうとする態度         |            |                                   |              |
| 第2回目   | 現在に至るまでの自分以外との人間との関係を振り返る。誰にどんな影響を受けたか考察する |            |                                   |              |
| 第3回目   | 幼稚園教育要領の中の領域の考え方、幼稚園教育要領の人間関係の目指すもの        |            |                                   |              |
| 第4回目   | 0歳児の人との関わりと保育                              |            |                                   |              |
| 第5回目   | 1歳児の人との関わりと保育                              |            |                                   |              |
| 第6回目   | 2歳児の人との関わりと保育                              |            |                                   |              |

|   |                  |   |
|---|------------------|---|
| 第7回目  | 3歳児の人との関わりと保育①   |   |
| 第8回目  | 3歳児の人との関わりと保育②   |   |
| 第9回目  | 4歳児の人との関わりと保育①   |   |
| 第10回目   | 4歳児の人との関わりと保育②   |   |
| 第11回目   | 5歳児の人との関わりと保育①   |   |
| 第12回目   | 5歳児の人との関わりと保育②   |   |
| 第13回目   | 気になる子への援助        |   |
| 第14回目   | 育ちを支える保育者同士の人間関係 |   |
| 第15回目   | 育ちを支える保護者との人間関係  |   |
| 成績評価の方法と基準                                      |                  |   |
|   | 評価の領域            | 割合  |
| 授業参加態度  | 30%              | 私語、居眠りをしていないか。ノートをとっているか。講義中の質問等に的確に答えているか。 |
| レポート  |                  |   |
| 調査報告書   |                  |   |
| 小テスト  |                  |   |
| 中間・学期末試験  | 70%              | 講義内容に対する理解がなされ、的確な回答が記述されているか。              |
| 発表内容(態度含む)                                      |                  |   |
| その他   |                  |   |
| 教科書と参考図書  |                  |   |
| 演習「人間関係」 建帛社 幼稚園の四季 鈴木出版                        |                  |   |
| 履修上の心得・ルール                                      |                  |   |
| 自分が保育者であったらこの場合どのようにするかという意識を常にもち、講義に臨むようにすること。 |                  |   |